

地域おこし協力隊等ネットワーク化検討の概要について

1 ネットワークづくりの取組の契機

本県では、地域おこし協力隊、復興支援員及び集落支援員（以下「協力隊等」という。）が、各地域において様々な活動を通じ「地域協力活動」を行っている。

今後、地域おこし協力隊、復興支援員を退任する者が増加していく中で、協力隊等の活動支援に、協力隊等 OB・OG の知見やつながりを活用できないか検討を行ってきたもの。

また、令和2年度に県が実施した、市町村担当者・隊員との意見交換会等において、隊員及び市町村担当者から他市町村の隊員とのつながりを求める声が多数寄せられたことから、協力隊等 OB・OG を核とした全県のネットワークづくりに取り組むこととした。

2 ネットワークづくりへの支援の概要

(1) 目的

協力隊等 OB・OG を核とした全県の協力隊等ネットワークを構築し、

- ・協力隊等 OB・OG と現役隊員等、現役隊員等相互の交流促進
- ・協力隊等 OB・OG による現役隊員等の活動支援
- ・協力隊等 OB・OG・現役隊員等・地域づくり団体等の連携・協働による相乗効果発現のアレンジ

を実施することで、協力隊等の個々の活動の充実、任期終了後の定着促進を図る。

(2) 具体的進め方（案）

- ・検討会議を開催し、ネットワークの活動内容、機能、形態等について協議。
- ・協力隊等 OB・OG、現役隊員等を対象としたワークショップを実施し、ネットワークの活動内容、機能、形態等について関係者から広く意見を聴取。
- ・なお、ワークショップは広域振興局の単位で、十分な新型コロナウイルス感染対策を行ったうえで、原則的に対面形式により実施。

3 今後のスケジュール（案）

7月30日	第1回検討会議
8月下旬～9月上旬	現役隊員等、協力隊等 OB・OG を対象としたワークショップを実施し、ネットワーク化に対する意見を聴き取り
9月中旬	第2回検討会議
10月	第3回検討会議
12月	第4回検討会議、ネットワーク立ち上げ
1月	ネットワーク設立総会

（注：意見集約の状況により、ワークショップ等の実施回数に変更の可能性がある。）

[担当：岩手県ふるさと振興部地域振興室 企画専門員 横田]